

第71回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2010年5月20日(木) 午後6時30分～8時30分	
講 師	四衢 亮 氏(高山教区不遠寺住職)	
講 題	「親鸞聖人の課題と私たち—御遠忌を開く—」	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

四衢 亮 (よつつじ あきら)

1958年、岐阜県生まれ。真宗大谷派不遠寺住職。

著書に『時言』・『自分の発見—絵本で感じる親鸞聖人の教え—』(東本願寺出版部)、
『三つの出会い』など。

先生からのメッセージ

来年は、宗祖親鸞聖人の750回御遠忌です。毎年毎年の報恩講を重ねて50年に一度は御遠忌として生涯を挙げてその教えに自身を確かめる、そうした精神生活が営々として伝わっています。普通の年中行事なら様々な時代の中で、中断し消えていくこともあるのに飢饉・災害・戦乱、大変な時こそ、自分を見失う時こそ、親鸞、親鸞とその名を呼び、その姿を求めてきました。

それは、その人が単なる歴史上の偉人なのではなく、現在を生きる私たちを揺さぶって止まない、深い願いから発露する問いかけを、自らの課題として生きたからに違いありません。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。TEL058-265-0033